

○教育大綱(事務局案)への意見【項目ごと取りまとめ】

I 生駒市の教育大綱の基本的な考え方

【山本委員】

p1 Iの1生駒市の教育大綱の位置付けと期間について

原案「大綱の期間は策定の日から4年間としますが、随時見直しの機会を確保します。」

修正意見「本大綱は策定の日から4年間をもって改訂の区切りとしますが、随時見直しの機会を確保します。」

p2 **教育大綱と関連する既存の計画**

「生駒市学校教育の目標」の根拠法令が空欄となっていますが、「地方教育行政に関する法律」でよいと思います。

【坪井委員】

教育大綱(事務局案)について、文言の修正をご検討いただきたい点を挙げます。

①(1ページ目)「関係者や市民の参加による」→「市民および関係者」

②(2ページ目)「アクションプラン」を、全体を通して一貫性を持つために「具体的な事業・施策(アクションプラン)と統一してはどうか。

いろいろ考えておられて、実はまだあるのですが、とりあえず上記2点をご検討ください。

II 生駒市の教育に関する基本的な方向性

1 基本理念

【山本委員】

遊び、学び、共に生きる “いこまびと”をはぐくみます

～戻ってきたくなる生駒を目指して～

と方向性を示す述語があった方がよいように思います。

【飯島委員】

1) 基本理念の記述

いずれの書き方でも要点は伝わるように思います。

オリジナリティある教育大綱とするためには、
会議で提案されたような大胆な表現が良いように思えます。

> 生駒で遊び、学び、共に生きよう

というような「意思表示」はいかがでしょうか。

読み方によっては「呼びかけ」にも見える所が良いように思います。

この基本理念をゆるやかに3つの基本方針に関わらせるように
記述を調整できれば良いと存じます。

【上田委員】

教育大綱の基本理念の表現について一言だけコメントをさせていただきます。

遊ぶ、学ぶ、共に生きる “いこまびと”

～戻ってきたくなる生駒を目指して～

遊びと学びを、遊ぶと学ぶという一人称的表現にした方が、
一人ひとりが、私が、積極的に関わるという感じがでていいと思います。

”いこまびと”

同じニュアンスのいい言葉があればいいのですが。

New Yorker Bostonian のような。

【浦林委員】

○一番目か、三番目案で、説明文の「」をキーワードとして統一してはどうか。

～戻ってきたくなる生駒を目指して～を、

～誰もが活躍できる豊かな未来を目指して～に（一回目のレイノルズ委員案より）。

生駒から出て行き戻ってくるのが前提の理念？市民の共感、共有は？

生駒で身近な市民生活を支える人、～幼子にとって保育士さん、高齢者にとって介護士さん、消防、警察、ごみ収集、障がい者に関わる仕事や、商店街、病院、美容院、花屋、農業に関わる人等～が、多くの職業をAI（人工知能）がとってかわることのできる時代になっても、地域に必要なヒーローではないのか、子どもが大きくなったらなりたい身近な大人ではないのか、誰もが活躍できる豊かな社会ではないのか、という思いから。

最初から世界を目指す教育と、地域生活に根差す教育と、どちらも大切にしたいですか。

遊び、学び、共に生きる “いこまびと”

～誰もが活躍できる豊かな未来を目指して～

or

「遊」「学」「生（生きる・生駒）」

～誰もが活躍できる豊かな未来を目指して～

社会が大きく変動し、多様化が進む 21 世紀。

その中であって、変化を恐れず、むしろワクワクする挑戦の機会ととらえて人生を楽しむことが求められています。

「遊び」とは、素晴らしい我々のまち「いこま」をおおいに楽しむこと。人と積極的に関わり、「学び」、共に「生きる」こと。そして、そのような市民の毎日が、ますます素敵な「いこまびと」を育て、ひいては、住み続けたい「いこま」、戻ってきたくなる「いこま」を創っていくのです。

【レイノルズ委員】

遊び、学び、共に生きる “いこまびと”

～戻ってきたくなる生駒を目指して～

or

いこまを「遊ぼう」！

or

「遊」「学」「生（生きる・生駒）」

社会が大きく変動し、多様化が進む 21 世紀。

その中であって、変化を恐れず、むしろワクワクする挑戦の機会ととらえて人生を楽しむことが求められています。

「遊」びとは、素晴らしい我々のまち「いこま」をおおいに楽しむこと。人と積極的に関わり、学び、共に生きること。そして、そのような市民の毎日が、ますます素敵な「いこまびと」を育て、ひいては、住み続けたい「いこま」、戻ってきたくなる「いこま」を創っていくのです。

「求められている」と言い切るのはいかがでしょうか。「～機会ととらえることで人生をより楽しむことができます」という提案的な文章の方が望ましい。

『ますます素敵な「いこまびと」』は抽象的な印象。何を持って「素敵」というのか具体的に示したい。

2 基本方針

<子育て・就学前教育>

基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり

1 保護者支援の場・コミュニティづくり

2 「遊び」を「学び」につなげる就学前教育の充実

つなぐ

- 未来の宝である“いこまっこ”を家庭・地域・学校・行政が連携し、地域全体で見守り育みます。
- 子育て世代の保護者が孤立せず、子供たちが安心して成長できるよう、悩みを共有・共感・相談できる場や、子育てを地域で支えあうためのコミュニティを構築します。また、現在は十分といえない男性の育児参加を促す取組を進めます。

進めたり、ひとり親家庭への支援を充実します。

- 幼稚園、保育園、こども園などの就学前教育の環境整備はもちろん、その教育内容についても、「遊び」を通して創造的な「学び」につなげるとともに、地域の高齢者との世代間交流など、より多様な地域の力を借りた「協働」による楽しく充実したカリキュラムを策定・実践します。

【山本委員】

p4～p5の基本方針1、2、3の下位の表現ですが、どれも体言止めではありますが、これらのうち、づくり、育成、支援、実現、確保は方向性が明確ですが、他の言葉はどうするのか方向性がわかりにくいです。できればトーンをそろえた方がよいように思います。

<学校教育>

基本方針2 21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり

- 1 21世紀に必要な力を身につけるための**学びの養成**
- 2 多様性を認め、挑戦を続ける、優しくたくましい心の育成
- 3 子どもや学校の**チャレンジ**を応援する**仕組みづくり**
- 4 学びを支える教職員、学校への支援

「義務教育における基礎的な学力、体力の地道な学びと向上を確実に積み重ねつつ、」というような文言で学校現場での基礎学力・体力づくりを大切にする姿勢、底上げを後押ししたい。

- **基礎的な学力、体力を土台としつつ、**21世紀の社会変化に対応するため、「主体的に行動する力」「課題を見つけ、解決につなげる力」「グローバル時代に対応する語学力やプレゼン力」「他者と協働するコミュニケーション能力」などを養成します。
- いじめを許さない学校づくりをはじめ、障がいの有無、国籍などの多様性を理解し、認め合うための具体的な学びの機会を確保し、人を思いやる優しい心を育成します。
- 新しいチャレンジを促し、成功体験による自信を得るとともに、失敗した場合にはしっかりフォローし、再挑戦を促す機会を確保するなど、逆境に負けないうまくましい心を育成します。
- 特別支援教育や学習支援を必要とする子どもたちへの対応や、奈良先端科学技術大学院大学との連携やトップアスリート等を迎えた授業など、興味ある分野をどんどん伸ばしていく機会を増やすことにより、個に対応した教育を実践します。
- これらの学校教育の発展を確かなものとするため、教職員の資質向上につながる研修や教育環境の整備・充実に取り組みます。

「新たな図書館」は新しい図書館ができるかのような印象を与える。「可能性に満ちた図書館」という表現などはどうか。

<生涯学習>

基本方針 3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる**新たな図書館づくり**

2 文化・伝統・芸術を通じた、より豊かなまちの実現

3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの**办発展**

4 すべての人が楽しく安心して成長できる機会の確保

- 生涯学習の力は、∞（無限大）。乳幼児から高齢者まで、すべてのライフステージや個々のケースに応じて学び、楽しめる機会を増やし、市民の一体感の醸成を図ります。また、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりはもちろんのこと、市民の生涯学習をまちづくりにもつなげる具体的な仕組みを構築します。
- 生駒の図書館を、単に本を借りる場所ではなく、人と本、人と人をつなぎ、新たな文化を創造する「まちづくりのプラットフォーム」とします。
- 郷土愛を醸成し、より豊かなまちを実現するため、生駒が全国に誇る「**茶釜（又は茶道）**」「音楽」をはじめとする文化、伝統、芸術を学び、体験する機会を確保します。

この文章の後半で「楽しく」という言葉が重複しているので、こちらを削除してはどうか。

「仕組みを構築します」という表現に違和感を覚える。「生活を支援します」などはどうか。

- スポーツの**楽しみ**を通して、**健康で、楽しく、元気で笑顔あふれる**仕組みを構築します。

「生涯その人なりの健康を維持するための体力づくりができる環境や機会を充実させます」にしてはどうか。

- 障がいの有無、国籍、性別、年齢などによる差別をなくし、多様性を認め合う学びや体験の場を創るほか、他者や地域に頼ることのできる環境・雰囲気醸成します。また、**青少年の健やかな成長**を図るとともに、失敗や挫折を経験した人の再挑戦を応援するため、きめ細やかな相談体制、きっかけの場づくりを進めます。すべての人が安心して学び、成長できる環境整備を進めます。

その他を実現すれば「青少年の健やかな成長」は自ずと実現できると思うので、この文章からは削除しても良いのでは。

Ⅲ 大綱策定後の進行管理

【飯島委員】

P D C Aサイクルについては、4項目が螺旋を描くように図示されているものが多々あるように思います。

4項目を矢印で図示するのは少々印象が薄いように思えます。

このサイクルを、あえて文章のみで記述する方が

堅実さや手堅さを印象づけるのに役立つかも知れません。

Ⅳ 教育委員会の果たす役割

【山本委員】

この文章は教育大綱に含まれているのでしょうか？意図がよくわかりません。

主語は生駒市？市長から教育委員会へのメッセージでしょうか？もし、市長からのメッセージなら市民に向けた方がよいのではないのでしょうか。とった方がよいと思います。